

学習進路だより



未来の自分発見講座 みんなの感想の巻

1. FullDepth の伊藤さんのお話に関する皆さんの感想

01 「好きなこと」を仕事にしたい。「やりたい」気持ちと「やる」決断を大切にしたい。

- ・自分が好きなことは一番尽くすことができるという言葉聞き、自分自身に自信ができました。
- ・自分の好きなこと、興味のあることを極限まで追求していけばそれを自分の仕事にすることが可能だとわかった。
- ・自分の好きなこと、やりたいことを突き詰めれば仕事にもなり得ることがあるのだと、改めて感じた。今のうちにやりたいことや好きなことをはっきりさせておこうと思った。
- ・自分が好きなことをやり通せば何でも実現できると思わせてもらえるような講話だった。
- ・私も自分が楽しんでできることを仕事にしたいなと感じた。
- ・自分も好きなことを職業にしたいという夢ができた。
- ・好きなことを仕事にするのは大変そうだと思っていましたが、実際にお話を聞いたことで、自分もやりがいがある仕事につきたいと思えました。
- ・趣味の上での夢を達成するために、それを仕事にする発想に驚きました。大学でのつらい時期も鮭や深海魚に助けられていたそうなので、自分が好きなことを信じるのはとても大切なことだと思いました。
- ・私も将来したいことがあまり決まっていませんが、最後の「何かをやりたいと思う気持ちは本当に特別なもの」という言葉を大切にしていきたいと思いました。
- ・今日の講話を聞くまでは特に何も考えずに生活していたが、今日からはやりたいことを見つけて時間を使っていきたい。
- ・今まで、なんとなく何でもやってきたが、その「やる」ということを考えることが大切だとわかった。
- ・好きなものという唯一無二の強さと「やる」ことの大切さが分かって今後の参考になった。
- ・今度からやるかやらないかを選ぶときに、人に言われてやるんじゃなくて、自分からやろうと思った。



02 行動をブレさせないために、「なぜやるのか」を大事にしたい。

- ・自分がやると決めたら、その目的を明確にして最後までやる事が大切だとわかった。
- ・なにかをするときにその1つ1つの行動に目的意識を持つことはスポーツの練習でも大切だとよく聞きますが、これからは講師の方のように、普段の生活でも応用していきたいです。
- ・その物事を”する”という選択をしたときは、毎回”なぜ”選択したのか考えることが大切だという言葉が印象的だった。
- ・仕事をするようになったら「なぜやっているのか」を答えられるよう、自分にとって価値のある仕事をしたい。
- ・常に自分で選んだ物事に理由をつけると、迷ったときにまた選択した当初の決意を思い出せるので、すごく参考になりました!



03 苦手なことがあってもあきらめない。「一人一人の強み」×「仲間」で夢を叶えたい。

- ・「得意なことがまだ見つからないのは挑戦していないことの中にあるのかもしれない」という言葉がとても心に残りました。
- ・あきらめないことの大切さが再確認できました。自分の得意な日本文学を極めたいです。
- ・自分のやりたいことに仲間を見つけることが大切なのだとわかった。
- ・改めて仲間との協力の大切さがわかった。これからのために自分の強みを理解していきたいなと思った。



04 無駄な経験なんてない。全部が重なってつながっていく。

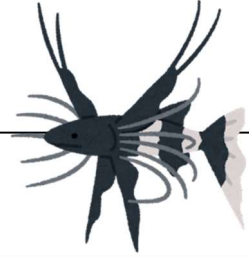
- ・夢を得るきっかけを得たのはあまり早い方ではなかったが、その一つのきっかけの下に昔からの経験、感情などが積み重なって、人生の一時一時がどれだけ意味を持っているのか、それを覗けた気がします。

2. 寄せられた質問への伊藤さんからのお返事

Q FullDepth の社名の由来は？

FullDepth の社名ですが、海洋調査の業界では単語の意味の通り「最深部」、つまり海の最も深い部分を指す言葉です。具体的に、最も深いところだと言われている、マリアナ海溝のチャレンジャー海淵（水深11,000m）のことを指すこともあります。

最後までやり抜くという気持ちと、最深部をも簡単に調べられるように変えたいという気持ちを込めて、社名を FullDepth としました。



Q 深海魚のどこが好きになったのですか。

想像を超える不思議な形や生活スタイルが気になって仕方がないです。

「わからない」から「知りたい」と思っており、深海に探検に行くことを考えたり、彼らの暮らしを想像したりすると、とてもワクワクするからです。

Q 深海魚で2番目に好きな魚は何ですか。

まだ見たことは無いですが「デメニギス」がとても気に入ります。



Q 深海の生物で一番びっくりした生物は何ですか？

最近は見慣れたので驚きませんが「ユメナマコ」を最初に知った時にはとても驚きました。

ナマコというと海底を這っている印象ですが、「ユメナマコ」は泳ぎます。ナマコの研究者の方に「普通のナマコと違って泳ぐんですね」と言った際、「私たち人類はナマコにとって海底を這うのが普通かまだ知らないので答えられない」と言われました。深海にはまだまだ知らないことが沢山あり、興味は尽きません。

ちなみに他には転がるタイプのナマコがいることが分かっています。

Q5 強い仲間はどうすれば手に入りますか。

本音で言えば運だと思っています。

ただ、努力できる部分もあると感じています。それは、自分と同じ気持ち、同じものに興味がある人を一生懸命探すことです。

言いたくない場所で主張をする必要はもちろんないですが、「これをやりたい」、「こういうことを考えている」と外に伝える事で、それに興味を持つ人が寄ってきたり、気にしてくれたりするようになると思います。自分が興味がある分野のイベントに飛び込む事ももちろんいいと思いますし、一見関係の無い場所で未来の仲間に出会う事もあると思います。

自分が居たいと思えない場所に仲間がいる事は少ないと思うので、自分が居たいと思える場所を探すのもいいかもしれません。



Q 好きなことを仕事にするまでにどれくらいの努力をしましたか。

実は「好きなことを仕事にするまで」については、好きだったので特に努力をしたとは感じていません。

起業自体は紙を役所に提出するだけでいつでも誰でもできます。

「好きなことを仕事にし続ける」ために、必要だと自分で理解できれば嫌な仕事をやります。

また、数が限られているチャンスの場合（面白そうなプロジェクトの参加人数だったり）には、やはりその分野で強い人が選ばれるので、自分が選んでもらえるように準備しておくことはとても大切だと思います。



Q 励みになった本や漫画はありますか。

あまり多くの本を読んできていません。
ジブリの「もののけ姫」が好きです。



Q 仕事で失敗したときの切り替え方や考え方を教えてください。

普通にしばらく落ち込みますが、仕事の場合、落ち込んで効率が下がったりすると他の人に迷惑がかかったりするので、あまり余裕はないかもしれません。

なので、ある程度で諦めて、次に同じことが無いようにするためにはどうしたらいいか、考えたり、助けてくれそうな人に一緒に考えてもらったりします。

あとは、本当にどうしようもなく辛くなったりしたら、時には逃げてもいいと思います。

人生はたぶん一度なので、無理はしないのが大切そうです。



Q 自分の好きなことを仕事にしたいけども親に反対されたとき、どうすればいいと思いますか？

多くの場合、親は親自身の為と言っているのではなく、あなたの為にと（と思って）言っているのではないかと思います。

将来自分の子供が十分にお金を稼いで暮らせるか、その夢が叶わなかったときに苦労しないかと心配して反対しているのではないかと思います（本当の所はわかりませんが）。

大事なのは、親に反対されてやめようと思うくらいか、それでもやりたいと心から思っているか、自分の気持ちをよく感じるかと私は思います（多分正解はなく、私なりの回答になります）。

もし、確信が持てず、高校進学後でも改めて目指せる仕事なのであれば、ゆっくり考えてみても良いと思います。

ただ、結局は自分の人生の話であって、親を含め他の人生ではないので、どうしてもこれがやりたいのだと確信を持っているのなら好きに生きるのがいいと私は思います。

親に言われて決めるのも、自分の意志を通すのも、最終判断は自分ですのだと思います。

後悔の無い選択ができるよう、お祈り申し上げます。

Q 私も伊藤さんのように好きなことなら進んで行動できるのに身の回りのことはサツパリなのですが、なにかアドバイスをいただけますか。

これは私も今なお悩んでいる課題です。

これまで生きてきて大事だと思っているのは大きく2点です。

一つは「しっかり周りに頼ること」です。

約束の時間に起きることや、出さないといけないと人生が変わってしまうような提出物の提出など、やりたくなくてもやらなければならないことは日常的に出てきます。これらに対して、自分でどうにかしようとしても出来なかったとしたらそれはとても残念だし、悲しい事と思います。

なので、もし頼ることができる人（家族や先生、友達またはアプリなど）がいるのであれば、「出来ないから助けて」と私は助けを求めます。

もう一つは「自分もちゃんと頑張ること」です。

私の場合、時として本当には自分でもやらなければならないと分かっているのにサボってしまい、そのまま忘れてしまう事があります。これは人に頼る以前に、自分の意識の話なので、自分で何とかするしかなさそうです。

そして、努力もせずに助けを求める人を、他人は助けたいと思わないことが多いので、やはり自分自身も努力することが大切そうだと私は思って生きています。

お互い頑張って生きましょう。



3 2・3年生の意見交換会の感想

伊藤さんの講話の後、2年生・3年生は自分のタイプや適職についての診断を行い、自分の強みや弱みについて話し合いました。その感想もいくつかシェアします。



01 調べたり話し合ったりして、もっと調べたりしたくなった!

- ・自分の夢を他人に発表できて、夢を達成しようというきもちが高まった。
- ・自分に何が向いているのか、もっと知りたいと思った。
- ・職業は自分が思っているよりもたくさんあると感じたので、今度調べてみようと思った。
- ・自分のやりたい仕事、性格にあった仕事など、どこに重点を置くかでかなり将来の在り方が変わるのだなと感じた。

02 長所・短所は人それぞれ。長所は伸ばして、短所もうまく扱っていききたいな。

- ・長所や短所がそれぞれあるように、仕事も人それぞれ合うものと合わないものがあるのだと感じました。これからたくさんの職種を知り、自分にあった続けられる仕事をなにか考えていきたいです。
- ・自分の長所や得意なことをうまく活かして社会に貢献し、短所の部分すらも長所へと変えていけるようにしたい。
- ・誰にでもできる仕事ではなく、自分の長所を活かせる自分にしかできない仕事をしたいと思った。



03 診断の結果は「思った通り」? 「思ったのと違う」?

- ・今の自分が好きなことが向いている職業として出てきたので、自分の趣味を職業の視野に入れるのもいいなと思いました。
- ・自分のなりたい職業が診断テストで出てこなくて悲しかった。自分のなりたい職業につけるように頑張りたい。
- ・適職として出てきた職業は自分のなりたいものとは違ったものの、自分の大体の性格があっており、将来の夢を決めるのに参考になった。
- ・タイプが同じでも進路が違ったりして、人間はタイプや型だけでは測れないと感じた。



04 自分を見つめて、自分を理解して……可能性はまだまだいろいろある!

- ・自分にはじっくり考えてから行動することに向いているということがわかった。このことを大切にして、一つひとつの行動を意味のあるものにしていきたい。
- ・主に芸術と政治の2つに興味を持った。前者は自分の短所を減らすような趣味のようなものであり、いつまでも好きでいられそうであり、後者は物事の全体を見るのによく、自分の性格などを見れば少し向いている気がしている。ただ、数ある選択肢から一つに絞り込むには、まだ難しそうです。
- ・私は絵を描くことが好きだけど、売れなければ収入があまり多くならないから、そういう仕事はやらないほうが良いと思っていた。でも、話し合いやタイプ診断を通して、お金のことをあまり考えずに好きなことをやるのもいいのかなと考えることができた。またタイプ診断で自分に向いている仕事があって良かった。自分に向いている仕事の1位はデザイン・アート系で私が好きなこととぴったりあったので、今後そういう系統の仕事も考えていきたいと思った。